

ワクチン接種の現状と 今後の予定 (別府市)

別府市ワクチン接種の現状



接種順位の上位に位置づける者の接種順位と規模(想定)

接種順位、対象者の範囲・規模については、現時点では以下のように想定されます。

接種順位の上位に位置付ける者の
規模の推計

医療従事者等 約 8,000人

高齢者 75歳以上
約22,500人

接種券
配布
4月19日～

予約受付
4月28日～

接種開始
5月17日～

高齢者 65歳以上
約17,500人

接種券
配布
5月14日～

予約受付
5月24日～

接種開始
5月31日～

基礎疾患を有する者※P4.1.14
約 9,400人

高齢者施設等の従業員
約 2,000人

60～64歳
約 7,000人

上記以外の者 35,100人

調
整
中

接種順位の上位に位置付ける基礎疾患を有する者について

1. 以下の病気や状態の方で、通院／入院している方

予診票の記載で確認 (自己申告)

1. 慢性の呼吸器の病気
2. 慢性の心臓病（高血圧を含む。）
3. 慢性の腎臓病
4. 慢性の肝臓病（肝硬変等）
5. インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病又は他の病気を併発している糖尿病
6. 血液の病気（ただし、鉄欠乏性貧血を除く。）
7. 免疫の機能が低下する病気（治療中の悪性腫瘍を含む。）
8. ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている
9. 免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患
10. 神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態（呼吸障害等）
11. 染色体異常
12. 重症心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態）
13. 睡眠時無呼吸症候群
14. 重い精神疾患（精神疾患の治療のため入院している、精神障害者保健福祉手帳を所持している、又は自立支援医療（精神通院医療）で「重度かつ継続」に該当する場合）や知的障害（療育手帳を所持している場合）

2. 基準(BMI 30以上)を満たす肥満の方

* BMI30の目安：身長170cmで体重約87kg、身長160cmで体重約77kg。

第44回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会（令和3年3月18日）の審議を踏まえ、追加

(参考)対象者の規模の推計

○ 入院：数十万人（平成29年患者調査）*、外来：560万人（令和元年国民生活基礎調査）*

○ 肥満（BMI30以上）：260万人（内閣府）*

○ 重い精神疾患や知的障害：210万人（新規）

（* 年齢は20-64歳とした。）

⇒ 合計約1030万人（互いに重複がない場合）

別府市の接種スケジュール(4月)

- ・ 高齢者施設入所者接種 4月15日から接種開始
23施設 約1200人に接種予定

	4月5日	4月12日	4月19日	4月26日	5月3日	5月10日～	5月24日～
ワクチン 配布数	195 バイアル (975回 分)	90 バイアル (450回 分)	90 バイアル (450回 分)	195 バイアル (975回 分)	1560 バイアル (7,800 回分)	3900 バイアル (23,400 回分)	接種率調 査の回答 を鑑みて 要望予定
高齢者施 設接種		4月15日～介護老人福祉士施設					
		4月15日～介護老人保健施設					
						5月11日～介護医療院	
	その他施設 → 当該施設での接種を希望するか等、施設の意向を調査						

高齢者接種の実施について



別府市の接種スケジュール(5月・6月)

高齢者個別接種に向けたワクチン供給見通し

- ・ 4月26日の週に1箱（975回分、一部高齢者施設接種分）
- ・ 5月3日の週に9箱（8,430回分）
- ・ 5月10日の週に20箱(23,400回分) の予定
- ・ 5月24日の週は接種枠調査の回答を鑑みて要望予定

	4月26日	5月3日	5月10日	5月24日	6月
ワクチン 配布数	195 バイアル (975回分)	1,560 バイアル (7,800回分)	3,900 バイアル (23,400回分)	今後要望	今後要望
高齢者接種	4月15日 施設入所者接種 個別接種				

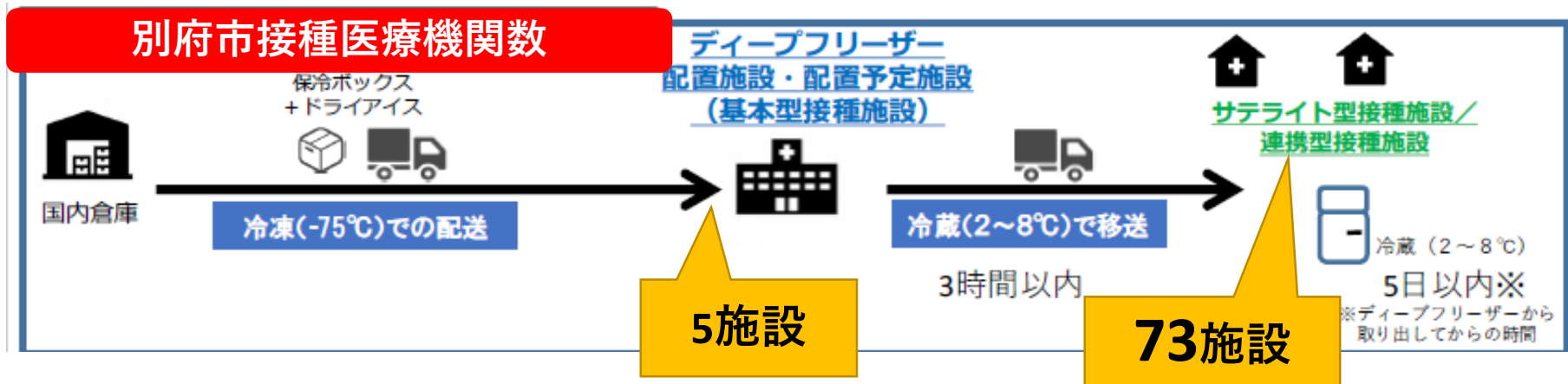
入院患者・在宅療養患者・その他施設入所者への接種

一般高齢者等の接種状況及びワクチンの供給量を見ながら接種開始時期等を検討（5月中旬以降に入院患者様の接種意向調査を予定しています）

高齢者向け接種にかかる接種体制 (R3. 4. 20現在)

● 個別接種

別府市接種医療機関数



● 高齢者個別接種のスケジュール

(接種券の発送日：75歳以上 4月19日～ 65歳以上75歳未満：5月13日～)

5月 17日～	24日～	31日～	6月 7日～	14日～	21日～	28日～
1回目	1回目	1回目	1回目	1回目	1回目	1回目
			2回目	2回目	2回目	2回目

75歳以上接種開始 (Starts at May 17th)

65歳以上75歳未満接種開始 (Starts at May 24th)

全高齢者の接種回数

約80,000回

6月末までの医療機関での個別接種数

17,413回 (R 3. 4. 20現在)

集団接種の実施を検討中

接種医療機関の広報について

医療機関名を広表する

- 接種券同封のチラシ、別府市市報（5月号）、HP等で広報

医療機関名を公表するが、かかりつけ患者のみとする

- 接種券同封のチラシ、別府市市報（5月号）、HP等で広報。
予約時に「かかりつけの患者」であることを確認のうえ、予約。

医療機関名を公表しない

- 公な広報がなされないのので、医療機関で接種希望患者等への広報が必要。医療機関が広報用ポスターを掲示し、接種希望患者へ広報。

※広報用ポスターについては内容調整中。
完成次第、メールで送付します。

新型コロナワクチン接種の お知らせ

かかりつけの患者様で75歳以上の方は、
当病院で
新型コロナワクチンの予防接種ができます



（予約方法）

4月28日（水） 9時～予約開始

インターネット（毎日5時～26時）



お申込みは
こちら

別府市コロナワクチン 予約



コールセンター 平日9時～17時

※ ただし5月末までは土日祝日も開設

0120-797-567

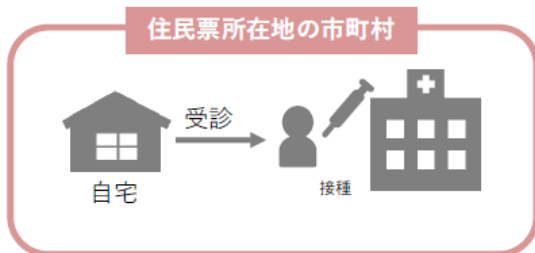
別府市健康推進課 新型コロナウイルスワクチン接種対策係

住所地外接種について

- 新型コロナウイルスワクチンの接種は、平時の定期接種と同様に、各地域で住民向けの接種体制を構築することから、住民票所在地の市町村で接種を受けることを原則とする。
- ただし、長期入院、長期入所している等のやむを得ない事情による場合には、住民票所在地以外でワクチン接種を受けることができることとする。

原則（住所地内で接種）

- ・ 住民票所在地の市町村に所在する医療機関等で接種を受けることが原則とする。
- ・ 市町村は住民向けの接種体制を構築する。



平時の定期接種と同様

例外（住所地外で接種）

- ・ 長期入院、長期入所している方等のやむを得ない事情による場合には、例外的に住民票所在地以外でワクチン接種を受けることができる。

やむをえない事情で住民票所在地以外に長期間滞在している者の例

市町村への申請が必要な方

- ・ 出産のために里帰りしている妊産婦
- ・ 遠隔地へ下宿している学生
- ・ 単身赴任者 等

市町村への申請が不要な方

- ・ 入院・入所者
- ・ 基礎疾患を持つ者が主治医の下で接種する場合
- ・ 副反応のリスクが高い等のため、体制の整った医療機関での接種を要する場合
- ・ 市町村外の医療機関からの往診により在宅で接種を受ける場合
- ・ 災害による被害にあった者
- ・ 拘留又は留置されている者、受刑者 等

住民票所在地の市町村



住民票所在地以外の市町村



接種の方法

- 住所地外の方も、別府市民の接種開始日と統一したいので、ご協力をお願いします。

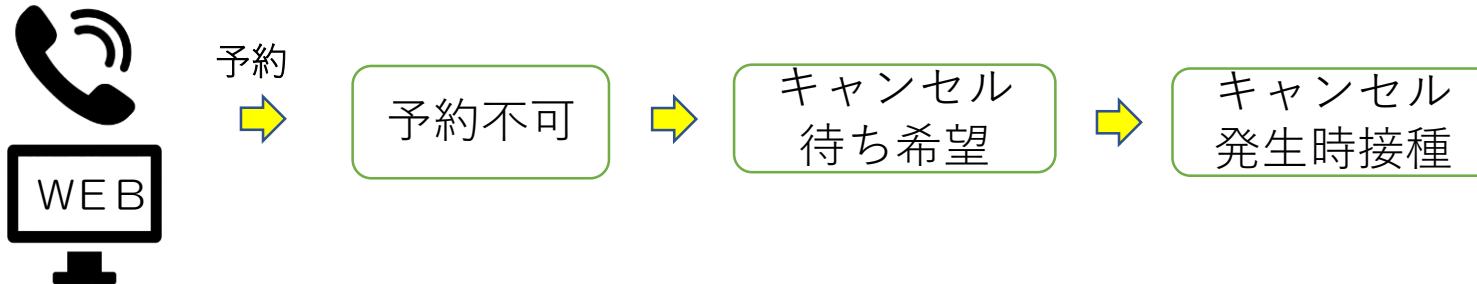
75歳以上 5月17日以降

65歳以上75歳未満 5月31日以降

当日キャンセル等によりワクチンの余剰が発生した場合の対応

被接種者のキャンセル

ワクチンの余剰が発生した際の対応については「キャンセル希望登録制度」を準備中。



接種医療機関のキャンセル

既に接種予約が入っている場合の医療機関側の急遽キャンセルについては、集団接種会場での接種案内を検討中。

【課題】

- ・ 被接種者への連絡
- ・ 集団接種会場までの交通手段がない場合の対応

関連システム事務の流れ

はじめに実施すること



初めてログイン

医療機関情報を更新

医師情報を登録

V-SYS入力

周期的に実施すること

①接種枠調査

②接種枠の確認

③ワクチンの納入日調整

④接種予約状況の確認

接種

⑤接種実績等の報告

請求総括表・請求書の作成

別府市

①メールで報告

②予約システムで確認

③電話又はメール

④予約システムで確認

⑤予約システム又はメール

V-SYS入力

新型コロナワクチン接種後の健康被害について

別府市ではアナフィラキシー等、アレルギーの緊急対応として救急車要請後の搬送先は以下の医療機関となります。

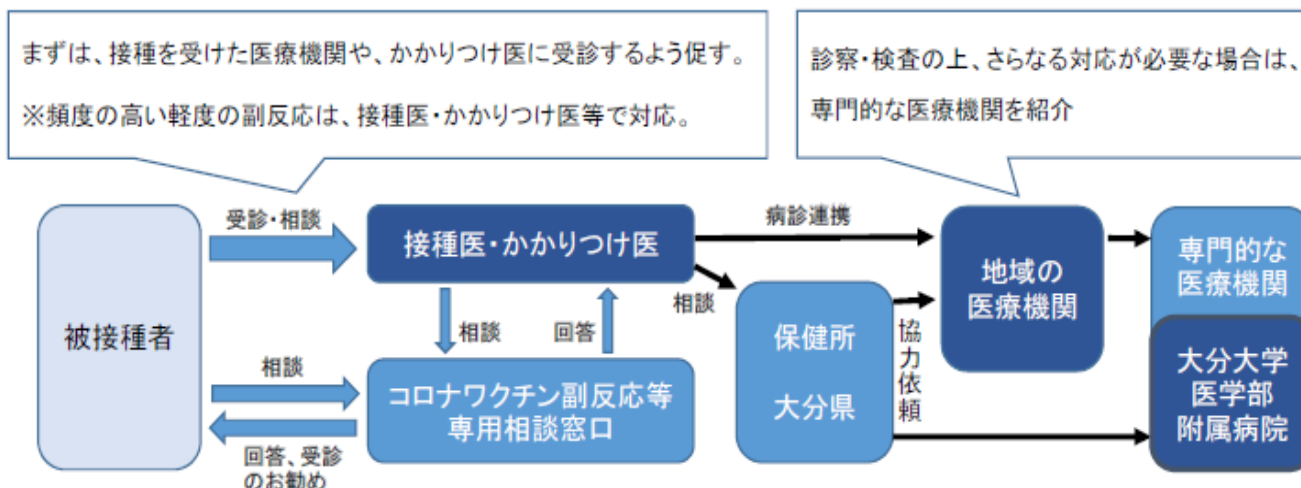
●新別府病院 ●鶴見病院 ●別府医療センター

ワクチン接種後の副反応等に対応する医療体制の確保について

(大分県感染症対策課)

令和3年3月17日

- ・新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応を疑う症状について、被接種者が受診を希望する際は、まず、身近な医療機関(接種した医療機関や、かかりつけの医療機関等)を受診し、受診した医療機関は、専門的な対応(各種検査)が必要であると判断された場合に、地域の中核的な医療機関を紹介する。
- ・必要に応じて、専門的な医療機関に円滑に受診できるよう、各保健所長は、各症状に対応ができる地域の医療機関に協力依頼を行う。
- ・県は、様々な症状に総合的な対応ができる専門的な医療機関(大分大学医学部附属病院)に協力依頼を行う。



大分県新型コロナワクチン副反応等専門相談窓口
097-506-2850(24時間対応)